

1. 工程管理

1. 実施工程表の提出について

(1) 実施工程表は工事の進行を確認するため、請負者が工事着手前に第1回目を、その後は毎月初（請負代金額1,500万円未満は2カ月に1回）に提出するものとする。

なお、請負代金額500万円未満の工事の実施工程表の提出については監督員と協議のうえ省略することができる。

(2) この工程表以外の詳しい様式にて管理するときは、その工程表を提出してよい。

2. 記入要領

(1) 工種、種別欄には工程管理上の要素が少なく、かつ工程を理解する上で支障のないものは記入しなくてよい。

(2) 所要日数欄には所要の実作業日数を記入する。

(3) 工程の上段には予定数量を、下段には実績数量と出来高パーセントを（ ）書で記入する。

1,000

(4) 予定数量を変えるときは ~~2,000~~ の様に前回の予定を線引きし上に新計画を記入する。

(5) 変更のあったときはその時点で変更数量により予定をくみ替え提出する。

(工事出来高報告表)

4,000

(1) 予定金額工程を変えるときは ~~3,000~~ のように前回の予定を線引きし上に新計画を記入する。

(2) 実施金額工程は実施工程表提出時点の出来高を記入する。

(3) 変更のあったときは、その時点で変更額により予定金額工程及び実施金額工程の累計%を訂正し提出する。

実施工程表・工事出来高報告表 記入例

工 事 名	〇〇〇〇〇〇道路改良工事	工 期	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日 変更平成 年 月 日	請 負 者	株式会社〇〇〇〇建設 代表取締役 〇〇〇〇
契約番号	第 〇〇〇〇〇 号	契 約 変更年月日	契約 平成 年 月 日 変更 平成 年 月 日	現場代理人	△ △ △ △ 印
位 置	岡山市 北区大供一丁目 地内	金 額	請負代金額 ¥50,000,000 変更請負代金額	主任 技術者 監理	△ △ △ △ 印

実 施 工 程 表

第2回 平成22年 6月 1日
第1回 平成22年 5月 1日
当 初 平成22年 4月 1日計画

工 種	種 別	数 量	所要 日数	月 別 () は%												摘 要		
				8	9	10	11	12	1	2	3							
準備工		1式	20	1式 (100)														
土 工	掘削	6,000 m ³	60	500 600 (10)	1400 1200 (30)	1700 1400	1500	1000										
	岩掘削	500 m ³	25		200 150 (30)	120 100	230 200											
擁壁工	擁壁 コンクリート	2,000 m ³	20		1000 800 (40)	700 500	500											
	積ブロック	500 m ²	40		120 100 (20)	200 100	200 100											
排水工	U型側溝 U4-B300	500 m	40		50 0 (0)	250 200	50	200										
	角フェーム 呼称 300	380 m	45					150	150	80								
後片付		1式	40															1式

工 事 出 来 高 報 告 表

(千円)

予定金額工程			12,500	8,200	10,200													
	500	8,000	12,000	8,000	10,000	7,000	4,000	500										
実施金額工程	600	7,000																

() は累計%

1. 実施工程表・工事出来高報告書の提出について

(1) 実施工程表・工事出来高報告書は工事の進行を確認するため、請負者が工事着手前に第1回目を、その後は毎月初め(請負代金額1,500万円未満は2ヶ月に1回)に提出するものとする。

なお、請負代金額500万円未満の工事の実施工程表提出については、監督員と協議のうえ省略することができる。

(2) これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出してよい。